

株式会社フジドリームエアラインズ・株式会社エージーピー
国産初となる航空機用バッテリー駆動式 GPU を導入しました

2024 年 2 月 21 日
(共同リリース)

株式会社フジドリームエアラインズ(略称:FDA、本社:静岡県静岡市、代表取締役社長:楠瀬 俊一)は、株式会社エージーピー(略称:AGP、本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:大貫 哲也)より、国産初となる航空機用バッテリー駆動式 GPU (地上動力装置) 『Be power.GPU』を導入いたしました。

航空機が地上で電力や冷暖房を使用する際は、通常は機体に装備された航空燃料を用いる APU (航空機補助動力装置) もしくは空港に配備されているディーゼル式の GPU を使用して発電しております。

昨今、カーボンニュートラルへの取り組みが航空業界でも重要課題になっております。FDA としても CO2 削減のための取り組みを模索する中で、令和 4 年度の空港・港湾における脱炭素化促進事業(環境省補助事業)を活用し、バッテリー駆動式の GPU を導入することといたしました。

本 GPU は、国内主要空港を中心に航空機への電力・空調供給を行っている AGP が開発した製品であり、国産のバッテリー駆動式 GPU としては初の導入事例となります。今回の導入により、CO2 排出量が通常の APU 比で 10 分の 1、ディーゼル式の GPU 比で約 3 分の 1 に抑制される効果が期待でき、政府が推進する「空港分野における CO2 削減」の実現に寄与して参ります。

■バッテリー駆動式 GPU 『Be power.GPU』導入概要

製品名: Be power.GPU

(バッテリー駆動式 GPU)

用途: 駐機中の航空機向け電源供給

製品特徴: ・国産初であり、高品質

・小型軽量で、効率的な運用が可能

・パワーアシスト機能により

取り回しが可能

運用開始日: 2024 年 2 月 26 日(月)頃を予定

導入場所: 名古屋(小牧)空港

導入台数: 1 台

製造者: 株式会社エージーピー

使用者: 株式会社フジドリームエアラインズ

